



### 海外向け日本コンテンツ専門チャンネル『WAKUWAKU JAPAN』

インドネシアで、視聴状況調査を実施。日本コンテンツが大好評！  
ミャンマーで6月1日（日）より放送開始決定

スカパーJSAT株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長 高田真治、以下スカパーJSAT）は、現在、インドネシアで放送中の『WAKUWAKU JAPAN』において、株式会社ビデオリサーチと共同で視聴状況調査を実施しました。

『WAKUWAKU JAPAN』は、2月22日にインドネシアでの放送を開始した、選りすぐりの日本コンテンツを24時間、現地の言葉でお届けするチャンネルです。今回の調査は、『WAKUWAKU JAPAN』を視聴可能な約200世帯、個人約900のサンプルが対象で、3月10日（月）から23日（日）の2週間で実施しました。調査結果では、スポーツ、アニメ・特撮、ドラマ、旅・紀行などの番組が非常に見られており、開局時に積極的にプロモーションを行った「Jリーグ」「ウルトラマンコスモス」「あまちゃん」の3番組が、中でも非常に高い接触率でした。これは、コンテンツの魅力に加えて、日本のコンテンツの海外発信を総合的に支援する「ジャパン・コンテンツ ローカライズ&プロモーション支援助成金（J-LOP）」等の支援を受けて実施したプロモーション展開が一定の効果を出したと分析しており、今後も引き続き積極的なプロモーション展開を、関係放送事業者、コンテンツ制作者の皆さまと実施してまいります。

また、スカパーJSATは、この『WAKUWAKU JAPAN』の展開を順次拡大することとしており、来る6月1日（日）よりミャンマーの有料多チャンネルサービス「4TV」で放送を開始します。「4TV」は、ミャンマーの大手メディアグループ Forever Group が提供する、地上波を利用した有料多チャンネル放送サービスです。ミャンマーでの

『WAKUWAKU JAPAN』の放送は、インドネシア同様に「オールジャパンコンテンツ」「24時間」の放送となり、全番組に英語または一部ミャンマー語の字幕を付加します。将来的にはすべてミャンマー語での放送を行う予定です。

ミャンマーは、今後の高い経済成長が期待され、日系企業の進出も加速しています。『WAKUWAKU JAPAN』の放送が、ミャンマーの生活者の日本への興味関心を高め、日緬交流を促すとともに、日系企業の経済活動のサポートになることを目指してまいります。



4TV ロゴ

<参考資料>

### WakuWaku JAPAN 視聴状況調査

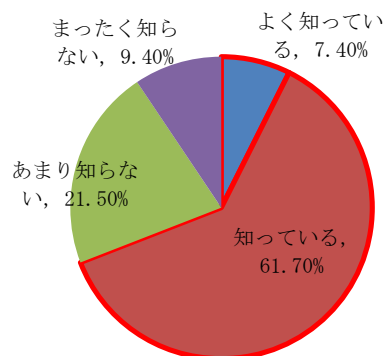
『WAKUWAKU JAPAN』では、インドネシアの方々の番組視聴状況を把握し、視聴者に愛されるチャンネルとして育てていくため、インドネシアでのチャンネル及び番組の受容性を調査いたしました。調査結果を精査・分析し、番組制作/編成に反映してまいります。

また、調査データをもとに、事業パートナーや広告主のソリューションとなる提案も実施していく予定です。

#### 【第1回調査実施詳細】

調査会社	株式会社ビデオリサーチ
調査エリア	インドネシア・ジャカルタ
調査手法	日記式調査 および 番組表調査
調査対象	『WAKUWAKU JAPAN』の視聴環境のある世帯内 個人（10歳～49歳）を抽出 クォーターサンプリングにて世帯220サンプル、個人890サンプルを対象
割付	男女10歳刻み
実施期間	2014年3月10日（月）～3月23日（日） 2週間
今後の調査予定	2014年6月、9月、12月 各2週間

#### ■『WAKUWAKU JAPAN』認知状況



テレビ広告 (TVCM) :	56.4%
テレビ番組 (報道など) :	54.0%
家族・友人・知人から聞いて :	8.5%
インターネット (SNS含む) :	3.9%

#### ■ジャンル別接触率ランキング (上位)

- ①アニメ・特撮：10歳未満の子供がいる世帯、および、10代男女が多く視聴していた。
- ②スポーツ (Jリーグ)：主にJリーグの試合が多くの方に見られ、サッカーの人気の高さが確認できた。
- ③ドラマ：ドラマは全般的に到達されており、中でも「ファミリー向け」「恋愛もの」が多く視聴された。
- ④カルチャー (旅・紀行)：事前調査でも「見たいジャンル」であった旅・紀行の番組は、殆どの世帯に到達していた。

※ジャンルごとの番組数が異なります。

### ■高接触率番組

	世帯平均接触率	個人平均接触率	推計視聴人数
・Jリーグ (スポーツ)	29.2%	15.8%	510,214人
・ウルトラマンコスモス (アニメ・特撮)	18.9%	13.1%	423,025人
・あまちゃん (ドラマ)	23.5%	9.9%	319,691人

※「Jリーグ」は3月16日(日)、23日(日)に放送された2試合の平均接触率・推計視聴人数。

※「ウルトラマンコスモス」は、学校から帰宅直後の夕方に編成しており、その時間帯に10%以上の接触率を得られた。

※「あまちゃん」は、朝の放送(7時台)よりも午後の放送(15時台)の接触が高い傾向が伺える。



ULTRAMAN COSMOS

© 2001 TSUBURAYA PRODUCTIONS



© NHK

### ■時間帯別視聴状況 (平均接触率)

現地で「モーニングプライム」と呼ばれている朝6時台から10%程度の接触が見受けられる。

平日平均では7時台が高く世帯11.4%、個人5.4%の接触となった。土日平均では11時台までの接触が世帯で10%以上となっており、平日にくらべて、午前中の接触が平日より多くなっている。

午後は平日・土日ともに15時台から接触が増え始めて、22時台まで続く。

土日平均では最も接触が高い21時以降も23時台まで世帯平均10%以上の接触率となっており、休日に自宅でゆっくりと夜遅くまでテレビを楽しむ傾向が伺える。

また、WAKUWAKU JAPAN1日あたりの平均視聴分数は世帯あたり、125.6分(約2時間)という結果になった。

WAKUWAKU JAPAN 公式サイト <http://www.wakuwaku.japan.tv/>